



「魅惑の1マイル」[The Magnificent Mile]に面して建つザ・ペニンシュラ・シカゴの全景

# ザ・ペニンシュラ・シカゴ The Peninsula Chicago

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

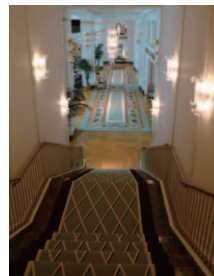
※本連載は毎月2・4週号掲載



お馴染みの白の制服・制帽のドアボーイ。ペニンシュラ香港とまったく同じ姿だ



スタイリッシュで機能的なデザインのレセプションカウンター



華やかな階段上から望むザ・ロビーのラウンジ

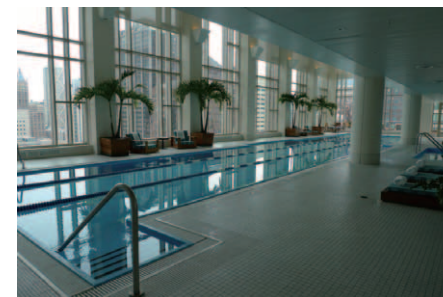


筆者 小原康裕

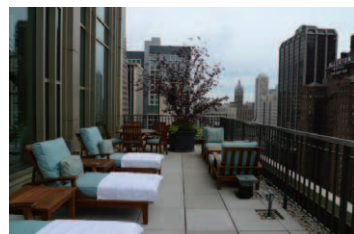
ホテルジャーナリスト。慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年Munich Re入社。85年築地原健株代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。※現在、著者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。[www.jhrca.com/worldhotel](http://www.jhrca.com/worldhotel)



ザ・ペニンシュラ・シカゴの正面エントランス。ホテルは「The Magnificent Mile」に面して建つが、正面玄関はティファニー・シカゴ店から入ったスペリオール通りにある



ホテル最上階にあるスイミングプール。全面ガラスのウインドーからミシガン湖の美しい湖面が望める



プール脇からオープンエアのテラスに出られる



5階でエレベーターを降りると巨大なコリドーのエントランスホールに出る



高い天井のロビーラウンジ[The Lobby]。ペニンシュラ香港のロビーを彷彿させる風景だ



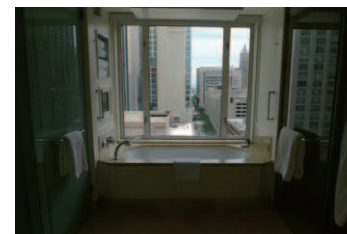
中華レストラン「Shanghai Terrace」の店内。右手のガラス戸から直接テラスに出られる



林立するビル街のオアシス的存在のテラス・ラウンジ[The Terrace]



「The Magnificent Mile」に面した[Executive Suite]のリビングルーム。約74㎡の広さを誇り、ドレッシングエリアを挟んで同じスタイル・面積のベッドルームを持つ



リビングとベッドルームの間に構成されたビューバス・タイプの浴室



リビングルームとまったく同じスタイルで、眺望の見事なコーナー・タイプのベッドルーム

シカゴを代表するメインストリートであるノース・ミシガン・アベニューは、別名「魅惑の1マイル」[The Magnificent Mile]と呼ばれる美しい通りだ。ニューヨークの5thアベニューと対比され、高級ブランドショップ、レストラン、ホテルが建ち並び世界有数の大通りである。ザ・ペニンシュラ・シカゴはこの華やかな通りのほぼ中央に立地している。2001年にオープンして、去年開業10周年記念を催したばかりの新しいホテルだが、「Institutional Investor」誌のトップ100ホテル選出の常連でもある。09年にはトップ10の第4位にランクインした評価の高いホテルだ。

堂々とした店構えのティファニー・シカゴ本店からスペリオール通り側に入った所に、ツインの獅子を置いた正面エントランスがある。ベルキャブテンの案内で5階までエレベーターで上がると巨大なコリドーのエントランスホールがあり、その正面にコンシェルジュデスクが見える。コンシェルジュ左手に機能的なレセプションカウンターがあり、右手にはペニンシュラ香港でお馴染みのロビーラウンジ[The Lobby]が華やかな装いでゲストを迎えてくれる。優雅な雰囲気を楽しむアフタヌーンティーは人気が高い。ここから1階下だと評判の中華レストラン、シャンハイテラス[Shanghai Terrace]がある。1930年代を思わせるクラシカルな雰囲気上海、広東料理を堪能できる。ユニークなのは、ここから直接ザ・テラス[The Terrace]に出られ、オープンエアのガーデンで心地よい風を受けながら飲茶やディナーを楽しむ。

ホテルはスイートを含め全339のゲストルームを擁し、建物はすべて道路に面して4方向の眺望を得られる多彩な客室構成だ。スタンダード・タイプの「Superior Room」でも約50㎡もありシカゴ最大級の客室面積である。アサインされた「Executive Suite」は約74㎡の広さがあり、ドレッシングエリアを挟んで両サイドにリビングとベッドルームがそれぞれ角部屋として配置されたレイアウトになっている。また、バスルームはビューバス・タイプで、居ながら美しいシカゴの街並みを眺められる。スパの「The Peninsula Spa」は最上階にあり、ジムやスイミングプールと連結している。高い天井と全面ガラスで囲まれたスイミングプールは25mの広さが確保された温水プールだ。ここから眺めるミシガン湖は素晴らしく、さらにプール脇からオープンエアのテラスに出られる。デッキチェアから眼下に「魅惑の1マイル」も俯瞰でき、充分楽しめる施設だ。

ホテルに隣接した広場にはシカゴのランドマークである「Chicago Water Tower」が建っている。全米で2番目に古い「給水塔」で、国家歴史登録財に選定された歴史的建造物である。ニューヨークで言えば、ザ・プラザの前にある広場といった趣で、多くの観光客でにぎわっている。ザ・ペニンシュラ・シカゴは、まさにシカゴを代表するビジネスと観光の中心地に建っているとさえ言う。